

報道関係各位

2023年7月4日

アライドアーキテクト株式会社

ステマ規制にも対応！

Letro、REGAL CORE と提携し「UGC 景表法チェック機能」を提供開始

安心・安全に UGC 活用ができるサービスへと進化

企業のマーケティング DX を支援するアライドアーキテクト株式会社(東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 中村壮秀、証券コード: 6081)で SaaS 事業を展開するプロダクトカンパニー(カンパニープレジデント: 村岡弥真人)が提供する運用型 UGC(※1)ソリューション「[Letro\(レトロ\)](#)」は、薬機法・景品表示法・特定商品取引法に基づく、広告クリエイティブのリーガルチェック事業を手がける株式会社 REGAL CORE(東京都渋谷区、代表取締役社長: 田之上 隼人、以下 REGAL CORE)と提携し、REGAL CORE と契約する専門家による監修のもとマーケティング利用したい UGC(※2)が景表法上の問題がないかをチェックする「UGC 景表法チェック機能」を提供開始したことをお知らせします。

サービス詳細ページ: <https://service.aainc.co.jp/product/letro/>

※1「運用型 UGC」は、訴求・SKU・展開チャネル毎の UGC 生成から活用のサイクルを回しつづけることで顧客体験を最大化し、売上成果に繋げる運用モデル

※2 Instagram 投稿やレビュー

提供開始



REGAL × CORE



Letro

UGC景表法チェック機能

スピーディーにプロフェッショナルによる確認を実現

## ■「UGC 景表法チェック機能」提供開始の背景

Letro が実施した消費者調査(※3)では、商品購入時、51.3%の方が企業発信の情報よりも「商品を購入した方から発信される情報」が重要視されると回答するなど、今信頼できる情報源として UGC の重要性が高まっています。こうした生活者のニーズの変化に対応するために、UGC を自社のマーケティングに活用する企業が増加していますが、2023 年 10 月から施行されるステルスマーケティング(通称ステマ)の規制法をはじめとする「景表法」の観点から、下記の理由でスピーディーに施策に取り入れることができない企業は少なくありません。

1. 社内にステマ規制法をはじめとする最新の景表法の知識をもつ人材がいない
2. 社内の法務担当のリソースが限られており、UGC1 つ 1 つの確認を通すことに時間がかかる
3. 外部の専門機関に委託して確認をしようとしたが、費用が高かったり、納期を要する

Letro ではこれらの課題を解決し、企業の UGC 活用を推進するため 10 月に実施される新たな法規制に先立ち、マーケティング活用予定の UGC が景表法上の問題がないかをチェックする新機能を提供いたします。

※3 出典:「生活者の購買行動における UGC 影響度調査 2022」

## ■「UGC 景表法チェック機能」とは

UGC 景表法チェック機能は、REGAL CORE に在籍する弁護士などの専門家によって、マーケティング利用したい UGC が景表法上の問題がないかをチェックする新機能です。Letro の管理画面で利用したい UGC を選択するだけで、専門家によるチェックを受けることができます。1~2 営業日でチェックが完了するため、社内のコストをかせずにスピーディーに施策を進行することが可能となります。



また、サイト掲載する UGC だけでなく、UGC 生成を促すキャンペーンページや CRM においても景表法に触れるコミュニケーションとなっていないかをチェックするサービスも同時に提供開始いたします。導入価格は、Letro

の月額利用料+5万円～となっています。詳しくは、下記ページにございます「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

お問い合わせ先：<https://service.aainc.co.jp/product/letro/inquiry-pr>

2023年2月に発表した「[UGC 薬機法チェック機能](#)」に続く新機能・サービスとなっており、Letroは日々アップデートされるガイドラインや規定の中でも安心・安全にUGCが活用できるサービスへと進化してまいります。

### 【「REGAL CORE」とは】

REGAL COREは、お客様のサイト・プロダクトが薬機法・景品表示法・特定商品取引法上の問題がないか代行してリーガルチェックする「Legal Core」を展開しています。貴社の社内法務や社外弁護士に代わり、社内にいる複数の弁護士・薬剤師が商品説明やキャッチコピー、文言などのチェックを担当。最短で即日～3営業日でチェックを承ります。複数人の専門家による監修で内容の信頼性を担保し、属人性が排除されたアウトプットをスピーディに提供可能です。このサービスを通じ、ECに関する法律を網羅的にカバーし、薬機法見解の基準を作り、広告業界の変革を目指しています。

<https://legalcore.jp/>

### 【運用型 UGC ソリューション「Letro」とは】

Letroは、企業のダイレクトマーケティング施策における「運用型 UGC」の実現を支援することで、売上成果向上につながるUGC活用ツールです。食品や化粧品のD2Cや大手通販メーカーをはじめとする多数企業で売上成果向上の実績を上げており、通販業界における「UGC活用ツール」累計導入ブランド数No.1(※4)を獲得するなど、高い評価を得ています。

※4 株式会社ショッパーズアイ調べ(2022年1月7日～2月1日) 比較対象企業:UGC活用ツールサービス提供会社(ウェブサイト掲載機能を有するもののみ)

### <アライドアーキテック株式会社 会社概要>

- ・代表者：代表取締役社長 CEO 中村壮秀
- ・所在地：東京都渋谷区恵比寿一丁目19-15 ウノサワ東急ビル4階
- ・URL：<https://www.aainc.co.jp>
- ・設立：2005年8月30日
- ・事業内容：マーケティングDX支援事業

### <アライドアーキテック・グループとは>

アライドアーキテック・グループは、日本、アジア、欧米に7つの拠点を持つマーケティングDX支援企業です。2005年の創業以来累計6,000社以上への支援を経て得られた豊富な実績・知見を活用し、自社で開発・提供するSaaSやSNS活用、デジタル人材(※3)などによって企業のマーケティングDX(※4)を支援しています。

※3 主に SaaS や SNS などのデジタル技術・手法に詳しく、それらを生かした施策やサービスを実行できる人材 (SNS 広告運用者、SNS アカウント運用者、エンジニア、WEB デザイナー、クリエイティブ・ディレクター等)を指します。

※4 マーケティング領域におけるデジタルトランスフォーメーションのこと。当社では「デジタル技術・デジタル人材※によって業務プロセスや手法を変革し、人と企業の関係性を高めること」と定義しています。

\* 本プレスリリースに記載している会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。